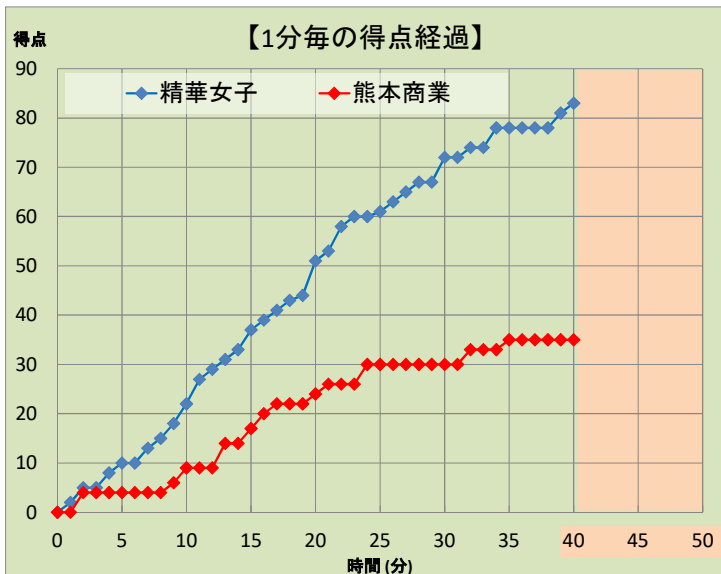


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 15:00	
コート	Cコート	第5試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	隈元 ゆみこ	
第1副審	佐田 明美	
第2副審	岡井 元毅	

TEAM A		TEAM B															
精華女子 83	<table border="0" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>29</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	22	1st	9	29	2nd	15	21	3rd	6	11	4th	5		OT		35 熊本商業
22	1st	9															
29	2nd	15															
21	3rd	6															
11	4th	5															
	OT																
福岡1位		熊本2位															
○		●															

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	樋口鈴乃	○ 18	4	2	2		
5	屋宜沙弥香	0					
6	木村瑞希	○ 16		6	4	1	
7	三浦舞華	○ 11	1	4			
8	吉原陽世	2		1		1	
9	嵐 夏妃	7		3	1		
10	仲真華子	3		1	1		
11	齊藤風香	○ 12		5	2	1	
12	松尾優希	2		1			
13	徳永 夏	0					
14	中園陽菜乃	○ 6		3		1	
15	高木愛華	4		2		1	
16	岡田ひまわり	2		1			
17	野田みどか	0				1	
18	田川菜津希	0					
コーチ	大上晴司						
合計		83	5	29	10	6	

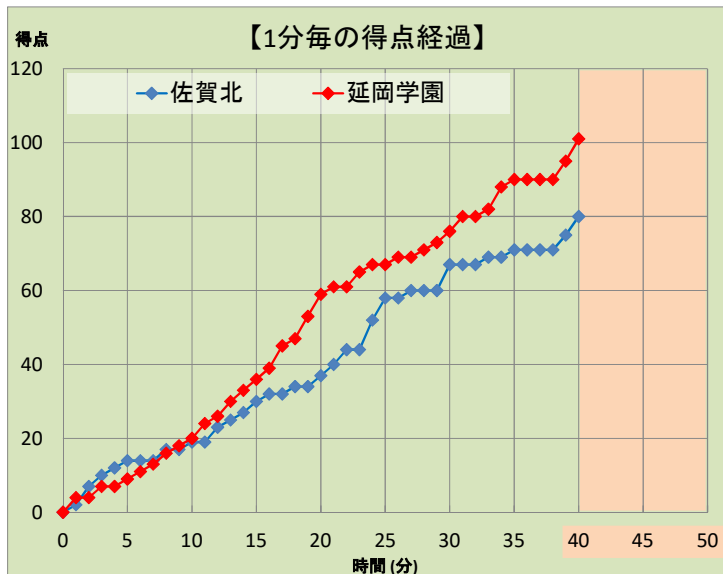
TEAM B		熊本商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岩下 千優	○ 4		2		3	
5	村崎 羽蘭	0				1	
6	大石 歩優	0				1	
7	竹宮 愛理	0					
8	網川 日菜子	0					
9	田上 琴	0					
10	井上 璃々花	○ 3	1			2	
11	山本 彩花	0					
12	亀井 彩乃	0					
13	後藤 咲花	0					
14	田中 瑞歩	0					
15	六田 祐花子	○ 4		2		5	
16	松村 夏希	0					
17	吉田 新菜	○ 16	4	2		3	
18	金森 ひびき	○ 8		4		3	
コーチ	山下 史						
合計		35	5	10	0	18	

【戦評】

全九州大会2回戦、福岡県1位精華女子対熊本県2位熊本商業との対戦、精華女子のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#11、#14、熊本商業のスターティングメンバーは、#4、#10、#15、#17、#18で試合開始。第1Q、両チームともハーフコートマンツーマンで試合開始。まずは精華が#7のジャンプシュートで先制すれば、熊本商業は#4のドライブで返す。序盤しばらく得点が動かない時間帯が続いたが、精華#4の3pts、#6のインサイドで精華が徐々にリードを広げる。対する熊本商業は#17の3ptsで応戦。最後は精華#7のブザービーターが決まって22対9精華リードで第1Q終了。第2Q開始直後、精華#4の3pts、続いて#6が2本連続でゴール下を決め、まずはペースを掴む。タイムアウトを挟んで熊本商業は#17が3本連続3ptsを決め、流れを引き寄せようとする。しかし、熊本商業のスクリーンがオフェンスファウルを立て続けにとられ、流れを掴めない。一方、精華は#4がスティール、ジャンプシュート、アシストと大活躍。最後は精華#4がブザービートの3ptsを決め前半終了。第3Q、精華はまず、リバウンドからの速攻で#7がレイアップ。熊本商業は#15がドライブで2点を返すが、精華の速攻が連続して決まり点差を広げる。6分半、65対30となったところで熊本商業タイムアウト。しかし、その後は得点をとれずに72対30で第3Q終了。第4Q、熊本商業は積極的に3ptsを狙うが精華のディフェンスを前になかなか決まらない。結局83対35で試合終了。最後まで諦めずにリングを狙っていった熊本商業に対し、試合を通じてアグレッシブなディフェンスを続けた精華女子の勝利となった。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 15:00	
コート	Dコート	第5試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	伊藤 彰二	
第1副審	仲間 芳幸	
第2副審	片岡 瑞季	

TEAM A			TEAM B		
佐賀北	80		101	延岡学園	
佐賀2位				宮崎1位	
		19 1st 20 18 2nd 39 30 3rd 17 13 4th 25 OT			
		●	○		

【BOXスコア】

TEAM A		佐賀北高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	水田 優衣	0					
5	迎 世里那	0				1	
6	大島 萌花	28	6	5		2	
7	山田 莉紗	5	1	1		3	
8	江原 光泉	14	1	4	3	3	
9	永淵 奈美季	0					
10	早田 菜乃佳	13	1	4	2	2	
11	畑島 鈴	0					
12	古賀 春妃	4		2		2	
13	徳島 華	0					
14	陣内 優	0					
15	西岡 希咲	16		7	2	5	
16	今村 祭里	0					
コーチ		中島 耕一					
合計		80	9	23	7	18	

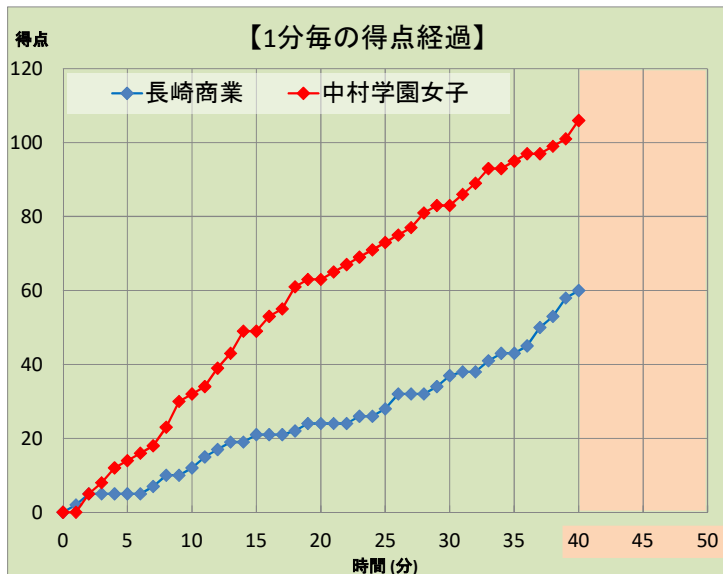
TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	佐藤 亜美	7	1	2		1	
5	デンベル サナタ	7		1	5	1	
6	谷ノ口 陽菜	0					
7	笹栗 圭夏	0				1	
8	甲斐 心温	9	3				
9	岩切 陽菜	0					
10	慎野 綾乃	9	1	3		4	
11	柳田 蘭	1			1		
12	河野 すみれ	0					
13	塩月 絢音	16	4	2		2	
14	西野 彩音	12	2	3		1	
15	ムボムボ ムロロ ファーロン	40		19	2	2	
16	平田 遥香	0					
17	甲斐田 春姫	0					
18	米倉 葛乃	0					
コーチ		内村 昌弘					
合計		101	11	30	8	12	

【戦評】

全九州大会2回戦、佐賀県2位佐賀北対宮崎県1位延岡学園の対戦、佐賀北のスターティングメンバーは、#7、#8、#10、#12、#15、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#8、#10、#13、#15で試合開始。第1Q、先制したのは延岡学園。#15のゴール下で確実に得点すると#8の3ポイントでさらに加点。佐賀北も#10と#8のスリーポイントですぐさま反撃。リードを奪う。しかし延岡学園#10のドライブ、#8の2本目となる3ポイントで振り出しに。第1Qは19-20で終了。第2Q、延岡学園が徐々に制空権を握り始めるが、佐賀北もショートコーナーからのショットが良く決まり一進一退の攻防が続く。第2Q後半、延岡学園#4、#13、#14が3ポイントを計5本決めリードを奪う。その後速攻も決まり37-59と延岡学園が大きくリードして前半終了。第3Q、まずは佐賀北が#10の連続得点、#6の3ポイントで反撃の流れを作る。対する延岡学園も#13、#14の速攻ですぐさま取り返す。その後佐賀北#6の3本連続の3ポイント、#8のミドルなどでその差は9点に。その後互いに譲らず第3Qは67-76で終了。第4Q、延岡学園は#15の3連続得点で突き放しにかかる。ディフェンスから速い展開で得点を重ね開始3分ほどで15点差まで広げた。佐賀北は#8のミドルや#7がショートコーナーから積極的にショットを打っていくが、延岡学園の厳しいディフェンスと素早いパス回しからのオフェンスに徐々に苦しくなっていく。終了間際、佐賀北#7の3ポイントが決まり、最後までボールを追い続けたが、力及ばず試合終了。80-101で延岡学園の勝利となった。延岡学園は2試合連続で100得点と非常に攻撃力のあるプレーを見せ、佐賀北に競り勝ち準決勝進出を決めた。

【戦評記者】 増永 洋祐
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日	(土) 15:00
コート	Gコート	第5試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	靱井 宏一	
副審	福田 彬宏	

TEAM A		TEAM B	
長崎商業	60	106	中村学園女子
長崎4位			福岡4位
●			○

12 1st 32

12 2nd 31

13 3rd 20

23 4th 23

OT

【BOXスコア】

TEAM A		長崎商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	今村 萌咲	◎ 3		1	1		
5	布袋 海衣	○ 2		1		3	
6	平野 朋	0					
7	山下 千尋	○ 21	6	1	1	1	
8	宮邊 梨里香	0					
9	林田 美咲	0					
10	中尾 瞳子	0					
11	平井 咲妃	0					
12	竹内 空玲愛	0					
13	浦川 愛加	0					
14	金光 絢音	○ 20		4	12	4	
15	房野 七美	2			2		
16	藤本 さくら	0					
17	山下 萌々花	○ 10		3	4	2	
18	嶋田 有里	2		1			
コーチ	織田 功						
合計		60	6	11	20	10	

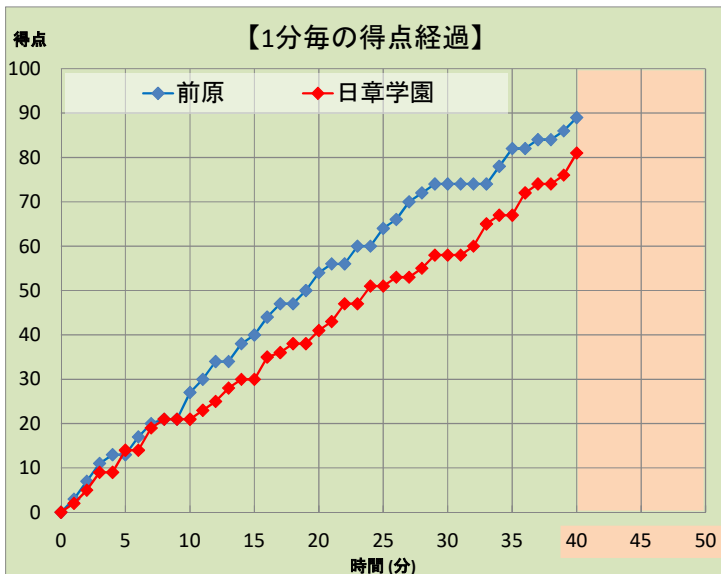
TEAM B		中村学園女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岡村 愛海	4		2		2	
5	永野 未歩	0					
6	阿部 蘭	○ 10		5		2	
7	矢野 美咲	○ 13	1	4	2	1	
8	河野 里奈	0					
9	平岡 陽菜	○ 17	1	5	4	3	
10	橋爪 亜美	2		1		1	
11	松下 さくら	3	1			2	
12	浦野 来望	◎ 8	1	2	1	2	
13	石田 千尋	7	1	2		1	
14	窪田 華音	4		2		1	
15	國井 仁奈梨	○ 36		18		3	
16	篠原 結生	2		1			
17	森貞 咲希	0					
18	佐世 菜奈子	0					
コーチ	平岡 雅司						
合計		106	5	42	7	18	

【戦評】

全九州大会2回戦、長崎県4位長崎商業対福岡県4位中村学園との対戦、長崎商業のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#14、#17、中村学園のスターティングメンバーは、#6、#7、#9、#12、#15、で試合開始。第1Q、中村学園はアーリーオフェンスの速さで開始5分で10点差をつけ、速いゲームを展開。#14のポストプレーで応戦する長崎商業もリズムを取り戻し攻防が進んでいく。スリークォーターからのディフェンスで圧力をかける長崎商業だが、#7の3Pや#4のゲームコントロールにより点差は埋まらない。第1Q終了時32対12で中村学園リード。第2Q、長崎商業の#14を中心にインサイドの攻撃でシュートファールをもらうも中村学園の速攻、二次攻撃や#15のポストプレーが決まり点差は離れていく。中村学園チームファールが5回になり、長崎商業は積極的な攻撃をするがリングにシュットが嫌われる。波に乗った中村学園は、長崎商業の激しいディフェンスにも対応し得点を重ねていく。24対63で中村学園がリードで前半終了。第3Qは両チームとも前半のスターティングメンバー通りで始める。中村学園#12のゲームコントロールやアシストは大変うまく、上手にポストや外角を使っていく。第3Q残り4分より長崎商業はオールコートに近いディフェンスでプレッシャーをかける。第3Qは83対37で中村学園がリード。第4Qが始めるは長崎商業のナンバープレーが決まる。中村学園は#9#11#13#14#17が交代。その後、#9から#10に変えスターティングメンバを全て交代させた。その後、#17アウト#11を投入。残り5分で50点の差がついた。中村学園はメンバーチェンジした5名はオールコートでプレッシャーをかけ、相手のターンオーバーを誘う。106対60で中村学園の勝利で試合終了。

【戦評記者】 内田 二郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日	(土) 15:00
コート	Hコート	第5試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	有働 千夏	
副審	大原 慎之助	

TEAM A			TEAM B		
前原	89		81	日章学園	
沖縄3位				宮崎3位	
○				●	

27 1st 21

27 2nd 20

20 3rd 17

15 4th 23

OT

【BOXスコア】

TEAM A		前原高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中山 葵葉	◎ 19	1	6	4	1	
5	伊波 海咲	0					
6	田本 萌	2		1			
7	島袋 葵衣	0					
8	島村 涼子	0					
9	金城 茉莉亜	○ 19	1	7	2	4	
10	兼島 藍	0					
11	長濱 真子	○ 12		3	6	2	
12	饒平名 紗也乃	0					
14	安里 桃花	0					
15	新垣 そら	0					
16	国吉 涼菜	0					
18	渡口 明奈	0					
20	中村 玲菜	○ 8		4		1	
21	宮里 築	○ 29		13	3	1	
コーチ	喜久山 泰司						
合計		89	2	34	15	9	

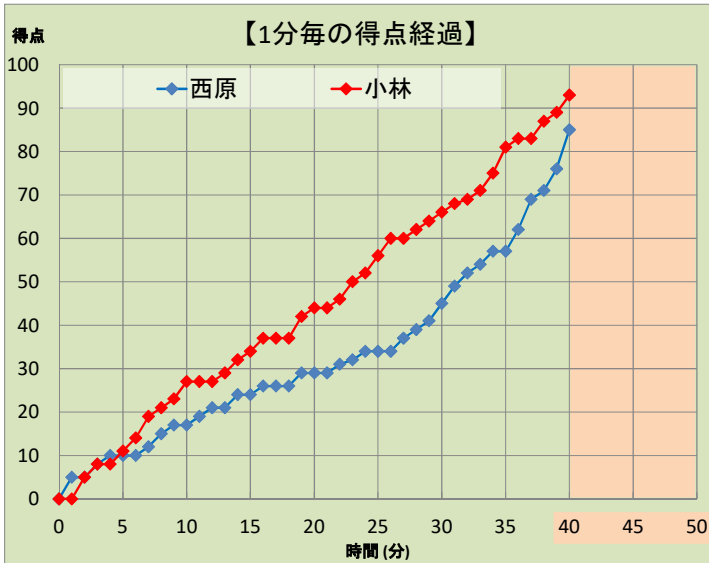
TEAM B		日章学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小八重 美桜	◎ 32	3	9	5	3	
5	日高 ひまり	0					
6	弓削 綾香	○ 4		2		2	
7	井上 里咲子	5	1	1			
8	佐藤 梨里香	0				1	
9	平部 千夏	0					
10	岩川 星詩流	○ 19		9	1	4	
11	北原 陽代	○ 16	4	2		5	
12	山内 陽菜理	0					
13	一政 帆海	○ 5	1	1		2	
14	山元 玲羅	0					
15	坂本 萌笑	0					
16	吉田 陽向	0				1	
17	稲田 真奈	0					
18	吉原 乃彩	0					
コーチ	小島 亜紀子						
合計		81	9	24	6	18	

【戦評】

全九州大会Bパート2回戦、沖縄県3位前原対宮崎県3位日章学園との対戦、前原のスターティングメンバーは、#4、#9、#11、#20、#21、日章学園は、#4、#6、#10、#11、#13で試合開始。第1Q序盤、前原は#9がドライブからのレイアップや合わせを演出し得点を重ねる。対する日章学園も#4を中心にドライブに攻め、ゲームはハイスコアの展開となる。第1Qはファストブレイクを多く出した前原が6点のリードを奪い、21-27のスコアで終了した。第2Q、先にペースを掴んだのは前原。#4の3pts、アシストなどでリードを広げる。前原の9点リードとなった残り7分51秒で日章学園はタイムアウト。直後に日章学園#4のアシストから#11がシュートを決め、流れを引き寄せた。すると残り4分31秒、日章学園が5点差まで詰め寄ったところで今度は前原がタイムアウトをとり、相手に傾きかけた流れを断ち切る。以降、堅いディフェンスで24秒オーバータイムを奪うなど再度流れを取り戻した前原がリードを広げ、54-41で前半を終えた。前原#21が前半だけで19得点をあげる活躍であった。第3Qも序盤は点の取り合いとなった。日章学園は#4のミドルや#10のポストプレイなどで得点をあげる。前原は巧みなパスワークから#4がミドルを決めれば、#11のフリースロー、#20のブレイク、#9のミドルなどバランスよく得点を重ねる。ここから日章学園はアウトサイドシュートが次々とリングに嫌われ、少しずつ点差が広がっていく。残り3分で点差は前原17点リードまで広がったが、日章学園も粘りのディフェンスでくらくつき、74-58で第3Qが終了した。第4Q序盤、日章学園は#10のゴール下連続得点、#11の3ptsなど、3分間で一気に11点差まで詰め寄るが、前原も#21を基点に周囲の選手が着実にシュートを決めるなど、粘る日章学園を振りきり、89-81と前原8点リードで試合終了となった。

【戦評記者】 飯田 啓介
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Cコート	第6試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	山口 憲昭	
第1副審	西村 かおり	
第2副審	林瀬 由依	

TEAM A			TEAM B		
西原	85		93	小林	
沖縄1位				宮崎2位	
●				○	

17 1st 27

12 2nd 17

16 3rd 22

40 4th 27

OT

【BOXスコア】

TEAM A		西原高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮里 野乃子	◎	15	5		3	
5	高江洲 祭		0				
6	根間 菜香		0				
7	知名 祐里	○	36	5	5	11	3
8	具志堅 夏琳	○	11	1	3	2	1
9	川崎 心華		0				
10	内間 星奈		0				
11	呉屋 果鈴		2	1		4	
12	照屋 海来	○	8	3	2	4	
13	金城 歩里		2	1			
14	仲本 茜理	○	2	1		3	
15	小渡 柚奈		0				
16	知花 彩海		0				
17	古堅 沙莉		9	4	1		
18	仲地 梨浦		0				
コーチ	崎浜 秀勝						
合計			85	11	18	16	18

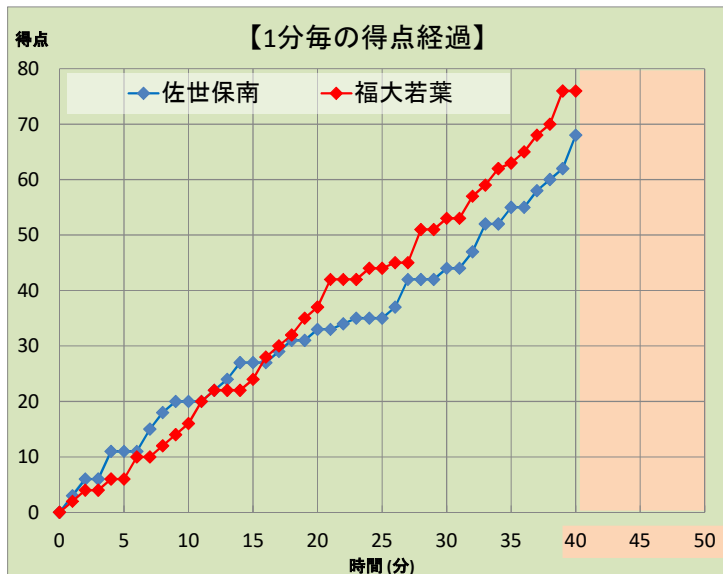
TEAM B		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮崎 叶		0				
5	老山 花歩	○	13	2	3	1	4
6	フェスターガード ヤマ アマンドラ	◎	16	1	6	1	1
7	園田 夏菜	○	14	5	4	3	
8	坂本 光奈美		0				
9	黒木 和花		0				
10	菅野 伊万里		2	1			
11	橋本 佳歩		0				
12	古閑 万優子		6	2	2	3	
13	松原 志帆	○	25	5	4	2	3
14	江頭 璃梨	○	0			5	
15	下之蘭 咲心		0				
16	平田 莉奈		8	2	1	2	
17	川合 希朱		9	2	5	1	
18	田上 凜		0				
コーチ	前村 かおり						
合計			93	10	24	15	22

【戦評】

全九州大会2回戦、沖縄県1位西原対宮崎県2位小林との対戦、チームA西原のスターティングメンバーは、#4、#7、#8、#12、#14、チームB小林のスターティングメンバーは、#5、#6、#7、#13、#14で試合開始。第1Q両チームともマンツーマンスタート。西原は1回戦同様オールコートでプレッシャーをかけミス誘うも、小林#6のキャリアには効果が薄く苦しいスタート。両チームともブレイクと3Pの応酬でスピーディーな展開。小林#7、#14のゴール下のディフェンスにより西原のレイアップ、リバウンドからの得点は抑えられ加点に苦しむ展開。第1Qは17-27の小林10点リード。第2Q小林のシュートミスから西原ブレイクで連続2ゴール小林タイムアウト。小林は#13の3P、#6の1on1による加点、西原はブレイクと#7の3Pなどで追い上げを図るもその差は15点に広がり29-44の小林リードのまま前半終了。第3Q小林の力強いチームディフェンスに西原#7も抑えられ、外角のシュートが中心となり、リバウンドも小林の#7#14に制され加点に苦しむ展開。一方小林はPG#6のコントロールから着実に得点を重ね第3Q終了には点差を21点に広げる。第4Q西原は再度プレッシャー。小林のミスは誘い残り7分36秒小林が17点差でタイムアウト。落ち着きをと戻した小林は正確なパッシングにより西原のハードアタックを回避し、的確な判断のもと得点を重ねる一方、西原も#4、#7の3P、#13のドライブなどにより、残り1分35秒で13点差まで追い詰め西原ボールでタイムアウト。西原#7、#8の3Pで9点差残り27秒。依然続ける西原のアタック。ブザービートで西原#4が3P決めるもタイムアップ。終始オールコートの豊富な運動量のもと、激しい当たりにも物怖じせず最後まで粘り続ける西原の選手の姿が印象的だった。小林は強い体格を生かしバランスのとれた選手構成でベスト4を獲得。準決勝もより強くチーム力を発揮した戦いに期待したい

【戦評記者】 黒田 和利
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Dコート	第6試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	紀伊 孝哉	
第1副審	山中 萌衣	
第2副審	村田 南美子	

TEAM A		TEAM B															
佐世保南 68	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>24</td><td>4th</td><td>23</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	16	13	2nd	21	11	3rd	16	24	4th	23	OT			76 福大若葉
20	1st	16															
13	2nd	21															
11	3rd	16															
24	4th	23															
OT																	
長崎2位		福岡2位															
●		○															

【BOXスコア】

TEAM A		佐世保南高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松本 美優	○	17	8	1	1	
5	柴田 渚	◎	26	3	7	3	
6	浦上 美優		2		2		
7	永畑 結加		0				
8	堀川 珠生		0				
9	濱 夏姫		0				
10	山田 あずか		0				
11	岩谷 実怜		0				
12	村川 奈緒		0				
13	前川 萌恵		0				
14	神岳 阿魅	○	4	2		3	
15	田中美羽	○	8	1	2	1	
16	江口 未花	○	11	3	1	4	
17	久家 志織		0				
18	本山 小菜美		0				
コーチ	松本 清子						
合計		68	7	20	7	13	

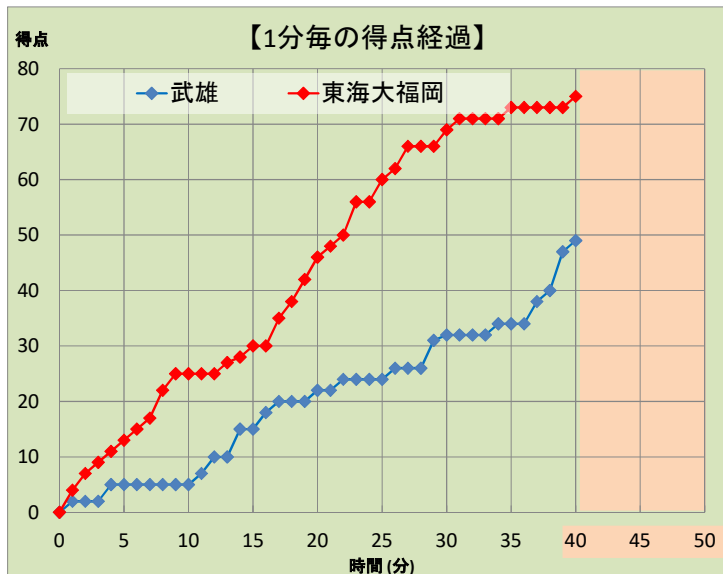
TEAM B		福大若葉高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中嶋 ゆめ	◎	12	2	3	1	
5	永野 真光	○	6	2	2	3	
6	吉岡 柚葉		0				
7	幸丸 嘉乃		0				
8	白土 友恵		0			2	
9	留森 杏実	○	18	7	4	3	
10	川上 楓華		0				
11	磯野 志歩	○	4	2		3	
12	田代 沙也佳		0				
13	下地 美和		0				
14	和田 春菜		11	5	1		
15	中村 愛結	○	25	11	3	4	
18	船橋 茉生		0				
コーチ	池田 憲二						
合計		76	2	30	10	16	

【戦評】

全九州大会2回戦、長崎県2位佐世保南対福岡県2位福大若葉との対戦、佐世保南のスターティングメンバーは、#4、#5、#14、#15、#16、福大若葉のスターティングメンバーは、#4、#5、#9、#11、#15で試合開始。第1Q両チームともにハーフコートでのマンツーマンディフェンスでスタート。佐世保南は序盤から7人の選手がタイムシェアしながらバランスよく得点を重ねる。対する福大若葉は#15の力強いインサイドを中心に得点し、互角の展開が続く。残り3分を過ぎ、連続得点で佐世保南が8点リードするが福大若葉も体を張ったディフェンスと、リバウンドからの速攻で反撃し20-16で第1Q終了。第2Q開始直後、オフェンスリバウンドと、インターセプトからの速攻で福大若葉が逆転する。対する佐世保南も#4を中心としたオフェンスで流れを引き戻し、一進一退の攻防が続く。残り3分、速攻からの流れで福大若葉が3点リードしたところで佐世保南がタイムアウト。その後、膠着状態が続き33-37で前半終了。#15のペイントエリア内のシールからのプレーでインサイドを制した福大若葉が逆転し、リードした前半であった。第3Q、福大若葉がインサイドに侵入させないコンパクトなディフェンスと高さのミスマッチを活かし点差を10点まで広げる。一方、佐世保南も残り4分を過ぎハーフコートからのディフェンスのプレッシャーを強くし5点差まで追いつけるが、福大若葉が#9、#15のオフェンスリバウンドから得点を取り、44-53で第3Qを終了する。第4Q、佐世保南が#16の3Pとドライブからのステップシュートなどで残り5分で5点差まで追いつける。しかし、インサイドを制する福大若葉がそのままリードを守り、最後まで粘る佐世保南を振り切り68-76で福大若葉が勝ち上がりを決めた。

【戦評記者】 中園 優一
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Gコート	第6試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	平安 拓也	
副審	池田 美紗子	

TEAM A		TEAM B	
武雄	49	75	東海大福岡
佐賀3位			福岡3位
●			○

【BOXスコア】

TEAM A		武雄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	草場 里菜	◎ 4		1	2	1	
5	森 陽海	○ 5		1	3	2	
6	谷中 佑理子	0					
7	永末 美保	0					
8	井上 虹葉	0					
9	野田 樹未	4		2		4	
10	安藤 優李	0					
11	西山 亜佐	○ 27	3	6	6		
12	塚本 愛	0					
13	中尾 華子	0					
14	宮崎 梨音	0					
15	秀島 萌夏	0					
16	山口 美弥	○ 4		2		1	
17	江島 菜々子	0					
18	小田 英恵	○ 5		2	1		
コーチ	武藤 広樹						
合計		49	3	14	12	8	

TEAM B		東海大福岡高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	緒方 憊乃	4		2		1	
5	田口 璃々花	2		1		3	
6	島 濤七	5		2	1		
7	島崎 桜	◎ 10	2	2			
8	井浦 菜依	0					
9	新原 穂ノ香	0				1	
10	稲福 七海	○ 5		2	1	1	
11	内藤 唯	○ 17	3	3	2	1	
12	竹元 琴音	6		3		1	
13	中山 涼	4		2			
14	榊 歩純	0				3	
15	木寺 智美	○ 6		3			
16	松本 舞星	○ 11		5	1	4	
17	山口 サクラ	0				2	
18	石川 さくら	5	1	1		1	
コーチ	宮崎 優介						
合計		75	6	26	5	18	

【戦評】

全九州大会Bパート2回戦、佐賀県3位武雄対福岡県3位東海大福岡との対戦、武雄のスターティングメンバーは、#4、#5、#11、#16、#18、東海大福岡のスターティングメンバーは、#7、#10、#11、#15、#16で試合開始。第1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。東海大福岡が#10のシュートで先制するが、武雄も#11のシュートですぐに同点とする。その後は東海大福岡がペースを掴み、ミドルシュートやドライブなどで得点していく。反撃したい武雄だが、#4の3ポイントが決まるものの、東海大福岡のディフェンスの前にしばらく得点できない時間が続く。東海大福岡はオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスも得点につなげ、25-5とリードして1Q終了。第2Q、まずは武雄が主導権を握る。#11のドライブや3ポイント、#18のインサイドで得点。また、相手のファールで得たフリースローを決めて反撃に出る。しかし、東海大福岡も相手のミスを活かして速攻につなげる。#7、#4を中心に得点を重ね、46-22で前半終了。第3Q、武雄は#4、#5、#9、#11、#18、東海大福岡は#4、#6、#10、#11、#15でスタート。前半同様、東海大福岡は堅い守りで武雄に得点を許さない。武雄は60-26と大きくリードされたところでタイムアウト。#11が奮闘するが、流れは変わらず69-32で3Q終了。第4Q、武雄ボールでスタート。武雄は#4、#11、#18を基点に最後まで意地を見せる。一方、東海大福岡はベンチメンバーが出場しながらも反撃をかわし、75-49で試合終了。東海大福岡の堅守とリバウンドが光り、準決勝進出を果たした。

【戦評記者】 西川 崇
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Hコート	第6試合
カテゴリー	女子	2回戦
主審	武田 隆博	
副審	倉本 明香	

TEAM A		TEAM B	
長崎西	69	70	大分商業
長崎3位			大分3位
●			○

15 1st 24

16 2nd 12

22 3rd 19

16 4th 15

OT

【BOXスコア】

TEAM A		長崎西高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	木村 織媛	◎ 14		7		3	
5	齋藤 明日香	○ 9	1	2	2	4	
6	古賀 美波	0					
7	岩本 ひかり	18		8	2	1	
8	田崎 彩夏	0					
9	清水 英	○ 3			3		
10	永橋 優夏	○ 17	1	5	4	1	
11	福島 夢菜	○ 2		1			
12	寺田 香菜実	6		3		2	
13	大野 華	0					
14	林田 あかり	0					
15	堀江 芳	0					
16	鮎瀬 恭子	0					
17	田嶋 小雪	0					
18	磯部 楓乃	0					
コーチ	溝江 和樹						
合計		69	2	26	11	11	

TEAM B		大分商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	重井 美寿樹	◎ 2		1		3	
5	久世 愛華	○ 10		5		5	
6	平野 優芽	○ 0					
7	石井 佑佳	○ 0					
8	田島 紅葉	6		3		2	
9	釘宮 結	19	1	7	2	3	
10	高 朋子	○ 23	1	10		4	
11	加崎 和	10	2	2		1	
12	高橋 あかね	○ 0					
13	亀井 彩華	0					
14	高野 愛由	0					
15	有松 京香	0					
16	富田 菜々子	0					
17	川元 みら乃	0					
18	塩田 夢佳	0					
コーチ	田北 俊郎						
合計		70	4	28	2	18	

【戦評】

全九州大会2回戦、長崎県3位 長崎西 対 大分県3位 大分商業 との対戦、長崎西のスターティングメンバーは、#5、#6、#7、#10、#12、大分商業のスターティングメンバーは、#4、#5、#9、#10、#11で試合開始。第1Q立ち上がりは、両チームともマンツーマンでスタート。大分商業#10が先制すると、長崎西#7が決め返す。#10のインサイドを軸に攻撃を展開する大分商業が優位に試合を進める。長崎西は途中出場のキャプテン#4のショットなどで応戦。1Q8分、20対9となったところで長崎西がタイムアウトをとり、#10の3Pを皮切りに追撃し、第1Qは24対15のスコアで終了。第2Qに入ると、両チームとも得点を決めきれずこう着状態となる。9点差を追いつきたい長崎西だが、大分商業#10のジャンプショットで34対21と点差を広げられ、2回目のタイムアウトをとる。その後、フリースローなどで地道に加点する長崎西に対し、大分商業は約3分間ノーゴールとなり、点差が縮まる。36対31、長崎西5点リードで前半を折り返す。第3Q、長崎西#7が連続で得点するが、大分商業はインサイドが踏ん張り一進一退となる。長崎西#5の3Pで1点差まで迫るが、その直後に大分商業#11が3Pを決め返す。第3Qは、55対53、大分商業2点リードで終了し、勝負の行方は最終ピリオドまでもつれる展開となった。4Q2分、長崎西#4のリバースレイアップで57対57と追いつく。大分商業#10がジャンプショットを沈め4点リードとした4Q5分、長崎西がタイムアウトを請求。トラップをしかけ追撃する長崎西は#4のインサイドアタックで2点差に迫るが、大分商業#11が3Pで得点差を押し戻す。大分商業3点リードで試合は最終盤に突入。残り1分、長崎西#7のレイアップで1点差に迫るが、大分商業が長崎西の激しいプレスをしのぎ、70対69で勝利した。

【戦評記者】 川口 喜巨
福岡県バスケットボール協会